

精神神経科学

論文

A 欧文

A-e

1. Yamada S, Honda S, Imamura A, Iwanaga R, Ozawa H: ADHD and the perceived reading weakness in Japanese adolescents (junior high school students). 3rd Asian Congress on ADHD programme book pp46. Singapore: 26 – 27 May 2016
2. Kanako Morifuji, Hideyuki Nakane, Tatsuro Kondoh, Akira Imamura: The relationship between the social competence of children and adults with Down's syndrome and caregivers' burden. International Congress of Human Genetics. in Kyoto, from April 4 to 6, 2016.

B 邦文

B-b

1. 小澤寛樹: 人は棲家の喪失に落ち込み,そして戦う—砂と霧の家—. 精神科臨床 Legato Vol.2 No.2: p46-47, 2016
2. 今村 明, 金替伸治, 山本直毅, 船本優子, 田山達之, 山口尚宏, 黒滝直弘, 小澤寛樹: 児童思春期医師の立場から. アスペハート vol.43 9月号: p48-53,2016
3. 今村 明, 金替伸治, 田山達之, 黒滝直弘, 小澤寛樹: 大人の発達症(発達障害). チャイルドヘルス vol.19 5月号: p45, 2016
4. 今村 明: 精神科レクチャー1 ARMS について. 日本小児心身医学会雑誌, 子どもの心とからだ vol.25 No.415-16: August,2016

B-c

1. 今村 明: 日常診療における精神療法 10分間で何ができるか第 15 章大人の発達障害(発達症): p207-220, 星和書店 2016
2. 山下隆浩, 冠地信和, 小澤寛樹: 新しく導入が期待されるうつ病治療薬のエビデンス 不飽和脂肪酸とうつ病治療. 臨床精神薬理 19 巻 7 号: 967-973, 2016

B-e

1. 松坂雄亮, 木下裕久, 黒滝直弘, 今村 明, 永田康浩, 小澤寛樹: 医学生への精神科医に対するイメージ, 第 112 回日本精神神経学会学術総会,一般演題 産業精神医学・医学教育: p168, 2016
2. 松本順子: 海外在留邦人メンタル支援—子ども支援の視点から. 産業精神保健 24 巻増刊号: P68, 2016
3. 今村 明: 精神科レクチャー I ARMS について, 子どもの心とからだ第 34 回日本小児心身医学会学術集会プログラム, JJSPP: p 110 - 111 2016.25(2)
4. 今村 明: ADHDQ&A, こころの病気について, 日本精神神経学会ホームページ: 2016 年 8 月 24 日
5. 冠地信和, 山口尚宏, 野中俊輔, 久保達哉, 山下隆浩, 木下裕久, 今村 明, 小澤寛樹: 抑うつエピソードと降圧薬内服に伴うリチウム中毒が併存し, 両者の鑑別に苦慮した双極性障害の 1 例. 第 69 回九州精神神経学会,第 62 会九州精神医療学会,プログラム・抄録集: p81, 2016
6. 山本直毅, 久保達哉, 冠地信和, 田山達之, 山口尚宏, 野中俊輔, 今村 明, 小澤寛樹: 母子関係の改善により軽快した小児の神経性食思不振症の一例. 第 69 回九州精神神経学会,第 62 会九州精神医療学会,プログラム・抄録集: p55, 2016
7. 小澤寛樹, 冠地信和: 5-D (Depression, Delusion, Developmental Disorder, Dementia, Disaster)における栄養とメンタルヘルス, 日本神経精神薬理学会プログラム・抄録集 46 巻, p86, 2016.
8. 小澤寛樹, 冠地信和, 米澤 健, 黒滝直弘, 今村 明: 精神疾患と栄養の最近の動向—5-D における栄養とメンタルヘルス—, 日本臨床精神神経薬理学会プログラム・抄録集 26 巻, p57, 2016.

研究業績集計表

教室等名 : 305 精神神経科学

論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2016	0	0	0	0	2	2	0	0	4	2	0	8	14	16

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計		B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会				シンポジウム	学会		
2016	0	0	3	3		3	4	11	18	21

論文総数に係る教員生産係数一覧

	$\frac{\text{欧文論文総数}}{\text{論文総数}}$	教員生産係数 (欧文論文)		$\frac{\text{SCI掲載論文数}}{\text{欧文論文総数}}$	教員生産係数 (SCI掲載論文)
2016	0.125	0.286		0	0

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2016	0	0	0